

令和3年度 第2回小松島市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和4年2月21日（月）午前10時30分～午前11時20分
2. 場 所 小松島市教育委員会2階会議室
3. 出席者 中山市長
福田教育委員，眞井教育委員，渡部教育委員，福良教育委員，小野寺教育長
4. 事務局 西照総務部長，芳賀総務部参事秘書広報課長事務取扱，勢井副教育長，
築原教育政策課長，曾我部学校課長，大島生涯学習課長，
稼勢学校再編準備室長兼学校課主幹，立川秘書広報課課長補佐，
河口教育政策課係長
5. 概 要
 - (1) 開会
 - (2) 協議報告事項
 - ①「小松島市教育振興計画 第3期」の策定について
 - ②「小松島市立学校再編実施計画」の策定について
 - ③その他
 - (3) 閉会
6. 議事の経過 別紙のとおり

(芳賀総務部参事) 皆様、おはようございます。ただいまから「令和3年度第2回小松島市総合教育会議」を開催させていただきます。開催にあたりまして、中山市長からご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

(中山市長) 皆様おはようございます。本日は大変お忙しい中にも関わりませず、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。さて本日は、今年度2回目の総合教育会議となります。本日の会議の内容といたしましては、小松島市教育振興計画第3期の策定についてと、小松島市立学校再編実施計画の策定について、2件のご報告をさせていただきたいと思っております。第3期となる小松島市教育振興計画は今年度1回目となる総合教育会議で策定させていただきました。第2期小松島市教育大綱の趣旨を受けた計画でございます。教育大綱では、「ふるさと小松島の未来を拓く人づくり」を基本理念といたしまして、未来を担う人を育て、未来に繋がる学びを作り、未来を創造する社会をつくることを目的とし、方針を立てております。今回策定いたしました第3期小松島市教育振興計画は、教育大綱を着実に実行するための計画ですので、後ほどご意見を賜ればと存じます。また、学校再編につきましては、今年度第1回の総合教育会議におきまして、小松島市立学校再編実施計画案を策定いたしました。その後、住民の方々に対し、住民説明会を開催し、私も説明会に回らせていただき、様々なご意見を聞かせていただきました。また、教育委員会ではアンケート調査やパブリックコメント手続きを実施し、住民の方々から実施計画案に対するご意見をいただきました。そのご意見を踏まえ、教育委員会、市の関係各課で本市の子供たちにとって一番大切なこと優先すべきことをしっかりと見極め、協議、検証して、小松島市立学校再編実施計画を策定させていただきました。この計画は主役であります子供たちの成長にとって望ましい学校教育環境を目指し、市の教育がより良い方向に向かうよう、委員の皆様方におかれましては、忌憚のないご意見を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。結びになりますが、本日の教育総合教育会議が実り多い会議となりますことを祈念いたしまして、甚だ簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(芳賀総務部参事) ありがとうございます。協議に先立ちまして、配付資料の確認をお願いします。本日の資料は会議次第、小松島市教育振興計画第3期、小松島市立学校再編実施計画となっております。お手元にごございますでしょうか。それでは、本日の議題に入りたいと存じます。総合教育会議につきましては、設置要綱に規定されております通り、主催が市長でございますので、以降の会議の進行を市長にお願いしたいと存じます。

(中山市長) ご指名によりまして司会の進行をさせていただきます。これよりは着座にて失礼させていただきます。それでは会議次第2、協議報告事項の1つ目、小松島市教育振興計画第3期につきまして、学校課より報告説明を願います。

(曾我部学校課長) 「小松島市教育振興計画第3期」について説明させていただきます。ピンクの冊子の方をご用意ください。現行の「小松島市教育振興計画第2期」は、対象期間を平成29年度から令和3年度までの5年間として、平成29年2月に策定したものでございます。この計画は今年度で期間満了となることから、次年度以降に向けた新しい計画として本計画を策定いたしました。策定にあたっては、令和3年7月に策定された「小松島市教育大綱」の趣旨を踏まえており、教育の推進をとおして市民一人ひとりが郷土を愛し、ともによりよい小松島を創りつつ、人間性豊かに暮らせるまちづくりを実現していくため、今後めざすべき方向や取り組むべき施策について定めております。1ページをご覧ください。第1章では、「計画策定にあたって」として、計画策定の趣旨、計画の性格、計画の構成、また、期間、背景等を記載しております。特に「3計画の構成」として教育大綱が市の教育行政の考え方として「基本理念」「基本目標」を明らかにした上で、その実現に向けた「基本方針」を示すのに対して、教育振興計画は教育大綱で定めた基本方針に基づき、各施策の「現状と課題」「方向性」「主な事業」を示すことを記載しております。また、「4計画の期間」でございますが、小松島市教育大綱第2期、また、小松島市第6次総合計画の期間で令和4年度から令和8年度までの5年間としております。4ページをご覧ください。4ページからは、本市の現状と課題、そして本市を取り巻く社会環境・教育環境について、人口、就学前教育・保育、学校教育、生涯学習の点からそれぞれ記載しております。そして10ページからは現在の教育振興計画第2期のそれぞれの重点目標、家庭教育の充実と地域の連携・協働、就学前教育の充実、「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進、生涯学習文化の創造についての取り組み状況というあたりを記載しております。18ページをご覧ください。ここからが振興計画のメインの部分となります。18ページでは、本市の目指す教育として、この7月に策定された小松島市教育大綱の基本理念「ふるさと小松島の未来を拓く人づくり」を示しております。またその理念を達成していくためには、三つの基本目標、「未来を担う人を育てる」「未来につながる学びをつくる」「未来を創造する社会をつくる」が相互に繋がり補完していることが重要であることをイメージ図として表しております。20ページをご覧ください。施策も再検討して本計画ではそれぞれの基本目標のもと、3つずつの基本方針を定めております。基本目標1「未来を担う人を育てる」としては、新たな時代を生きる力の育成、安心・安全に学べる環境の整備、可能性や個性を伸ばす教育の推進。基本目標2「未来につながる学びをつくる」としては、学び続けられる機会の充実、いきいきと運動ができる環境の整備、小松島への誇りと郷土愛の育成。基本目標3「未来を創造する社会をつくる」としては、地域社会と共に活動する機会の充実、人権教育・啓発活動の推進、安心・安全な地域づくりの推進となっております。それぞれの基本方針に対する主な事業として、3つから7つの項目を挙げております。21ページからの第4章では、基本施策としてそれぞれの基本目標を踏まえた基本方針を記載した後、その基本方針に沿った取り組みを進めていく上での現状と課題、方向性として、主な事業ごとに目標指標を記載させていただいております。一例として、23ページをご覧ください。これは基本方針「新たな時代を生きる力の育成」を受けたものでございますが、就学前教育・保育の充実と小・中との連携については、主な事業として、全体的な計画に沿い、子供の

主体性を育むための環境や体験活動を提供するなど7つの事業を中心に取り組み、その目標指数としては、就学前教育・保育の質の向上(食育・健康・特別支援等を含む)ための研修の実施の回数を、現状値(令和2年度)の3回から令和8年度には6回としております。続いて、確かな学力の育成としては、学習指導要領に基づく指導を実施しながら、学力向上推進委員会を中心に、全教育課程を通じて、児童生徒の基礎的・基本的な「知識及び技能」の一層の習得と「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の育成をめざした教育を実践するなど7つの事業を中心に取り組み、その目標指標として、全国学力・学習状況調査に置ける正答率の全国平均との比率を令和8年度には小学校、中学校ともに国語と算数、数学で同程度以上としております。それぞれの基本目標、基本方針に沿った現状と課題、方向性、主な事業目標・指標を順次記載しております。ここについては説明を割愛させていただきますが、ICTの活用と情報教育の推進、学校再編や校舎改修による教育環境の改善、コミュニティ・スクールを生かした学校運営体制の充実、放課後子ども教室の充実などこれからの時代に合った内容も取り入れております。特に、図書館と学校との連携や、地域住民や多様な団体等の参画を通じた地域学校協働活動の推進など、学校教育と社会教育を結び付けた事業の実施、また、ボランティアまつぼっくりの登録者数、文化協会講師派遣者数なども目標指標として取り入れるなど、教育委員会内の取り組みだけでなく、各種団体との連携強化の視点は取り入れるなど、横断的総合的な教育の振興を図るということを明示しております。なお、目標値の現状値についてですが、基本的に今年度つまり令和3年度を基準としておりますが、まだ年度途中ということもあり、最終的な数値が確定していないものもございますので、現状値の年度はやむを得ず混在しております。54ページをご覧ください。54ページからの第5章では本計画を推進していくための推進体制、また、資料編として設置要綱策定経過、策定審議会委員名を記載しております。56ページの方に記載しておりますが、本計画の策定にあたっては、9月16日の第1回策定審議会を皮切りに3回の審議会を行い、57ページに記載しておりますような大学、学校、各種団体、保護者等様々な分野の委員の方々が、相談し策定を進めてまいりました。令和4年度からは本経過に則り、教育に関する各担当部署、関係機関等が連携を図りながら事業を推進し、小松島市教育大綱のリーダーの火付け人としての取り組みを進めていきたいと考えております。以上でございます。

(中山市長) ただいま担当から説明をいただきましたが、「小松島市教育振興計画第3期」は「ふるさと小松島の未来を拓く人づくり」を基本理念とする教育大綱の趣旨を踏まえ、令和4年度からの5年間の取り組みを定めたものということでございました。今回策定されました教育振興計画について皆様のご意見を伺いたいと思います。特に、委員の皆様が重点的に取り組むべきという項目やご意見などがございましたら、よろしく願いいたしたいと思います。福田委員をお願いします。

(福田委員) 今回のこの第3期の教育振興計画、見させていただきました。教育全般にわたって幅広く、細部にまで計画がなされていると、感じておりました。なお、これを実際にこの計画

を具現化していくに当たっては、もちろん市民の方々への周知なり、それから特にこれから教育関係に携わる行政の方たち、職員の関係の皆様方のご理解というのが不可欠なことだと感じています。具体的な中身につきましては、特に具体的な指標として、目標値として提示、その中にも書かれておりました具体的な取り組みが、目標指標として、今後目指して取り組んでいただけたら、かなり具体的な取り組みになるかと思っておりますので、ご期待を申し上げたいと思っております。以上です。

(中山市長) ありがとうございます。他に。福良委員をお願いします。

(福良委員) この第3期は第2期の計画を参考にとということで、実はこの前の定例会で教育委員会の点検評価報告書をいただいて、外部委員の方からの評価を、見せてもらいましたが、第2期の場合は評価しにくかったという感じがします。というのは、その評価という部分が、何なのかわかりにくかったのではないかという気がしました。その委員がその評価をされたんですけど、先ほど福田委員さんもおっしゃられたように、各項目にわたって目標指標を作って、中山市長さんの目指す「ふるさと小松島の未来を拓く人づくり」に近づけていくということで、非常によくできているのではないかなと、だけど、どの点側に重点を置いてということで、やはり私これからの子供たちのことを考えると、この主な事業のICTの活用では、小中の子供たちにもタブレットを今配布してもらって、聞くところによると、コロナで休校とか学級閉鎖の時に学校も早くもそれを活用して、休んでいる子たちにリモート授業をしている例も聞いております。そういうことでこの教育のあり様もこれから変わってくるのかなあという気もしますし、自宅にいて学級の子たちと対面で顔を合わせたり、それから一緒に給食と自分と、自宅の食事を子供たちと一緒に、なんとなく、タブレットを通じて体験できるということで、高評価を得ていると耳にしたりしています。こういうICT情報教育の推進に期待を申し上げますし、コロナ云々ということ以外にも、もしかしたら学校に行きづらい子供たちにも利用できるのではないかと。でも、非常にお金のかかることですので、市の報告、財政状況等も見ながら、子供たちは平等に教育の機会を得るような仕組み作りができたらいいなという感じがします。それから第3期では、次に出てくる学校再編のちょうど8年度までということで、9年度からこの新小学校が動き出す計画であります。それまでの大事な大事な第3期かなと思っておりますので、市とともに子供たちが、ふるさと小松島を愛せるような、そういった教育を行政の人たちと一緒にやっていきたいと思っております。以上です。

(中山市長) ありがとうございます。では、眞井委員をお願いします。

(眞井委員) この目標値を定めることは、これからもずっとやっていくにあたってモチベーションを高めることにもつながり、とてもいいことだなと思いました。この基本目標の1、2、3、どれもとても大事なことだと思いますが、今後数十年以内に起こると言われる南海トラフ地震のこともあり、地域における市民同士のつながり、あと安心・安全な地域づくりやそういうところを

特に優先して、大事なところであると思いました。それを進めていくことにより、目標1に繋がり、目標2にも繋がると思います。特にこの3の目標のところは、優先的に力を入れていただきたいなと思いました。以上です。

(中山市長) はい。ありがとうございます。渡部委員お願いします。

(渡部委員) 全体に見せていただいて、本当にその思いからも細かく目標を立てられ、特に先ほどから皆さんおっしゃったようにこの現状値と、目標値というのが具体的に示されているところは、大変その次の政策をいろんなのを見ていて、ポジティブに実行していただけるのではないかと思います。県の最初のグローバル社会で活躍できるようにとありますけど、この世界に羽ばたくグローバル人材、そのグローバルというローカルの心、また小松島市民として子供として生まれたからにはその地域の良いところを心に、だからその教育というのはやはりふるさととは良かったな、いいなと思えるような教育を心と体を育むのが基本であると思います。その上にやはり知識など、時代に合わせて教育の方針はもうしっかりした骨組みをたった上に、世界の変化、現状ですが、世の中の変化に合わせているような教育こういう計画を作り出して、それに向かっていくことは本当に大事なことだと思います。特に、眞井さんがおっしゃったように、これから南海トラフも震災とかは大変大きな問題です。公民館とかは、生涯学習など、いろいろと網羅されています。そういう歯車を一つ一つの目標として歯車がきちんと方針としてうまく回することはすごく大事だと思います。一つ私からお願いがありますが、防災に関して、海拔の表示について今はスマホとかでも標高とか海拔はすぐ調べたら出ますが、国道などには海拔の表示があります。それぞれの身近な地域のところで公民館や、近くの電柱などにもある程度表記していただけたら、防災意識も少し高まるのかなと、いろいろ見ながら思ったところですのでどうぞよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

(中山市長) ありがとうございます。教育長、今の海拔の件も含めて、小学校とか中学校の校舎には海拔表示はしていませんか。

(小野寺教育長) 学校課の方ではな。

(曾我部学校課長) 全ての学校に表示されているかどうか把握は完全にはできませんが、私が勤務しておりました学校については、表示がされておりました。様々なところに表示はされております。そうした部分の事実確認は図っていく必要があると考えています。

(小野寺教育長) おそらく学校に表示はされています。ただ海拔の表示がいたるところにされているわけではございません。玄関の入口に、一応表示をする形になっていると思います。

(中山市長) 県立高校は壁面にしています。松高もしている。

(渡部委員) 学校ばかりでなく地域でも表示が進むとよいのでは。

(中山市長) 地域ですね。

(渡部委員) 地域の中の電柱とか、商業施設とか、身近な住まいをしているところへなど。

(中山市長) なるほど、なるほど。

(渡部委員) 地域に一つあれば、いいかなと思っています。

(中山市長) 県道に関しましては電柱とか、信号機とかに整備をさせていただいているところでありまして、それを踏まえて、市の方もしっかりと市道とか、そちらの方にもご要望にお応えできるように努力したいと思います。ありがとうございます。では教育長。

(小野寺教育長) まずは大綱にある「ふるさと」と「未来」については最高のキーワードだったと思うんですが、今回のこの振興計画の中には、具体的な方向性という形で盛り込まれています。それで委員さんから、同じような意見で目標指標の話が出ておりますが、前回までは、非常に漠然としておりました。2期までは、3期になって非常に具体的に見やすくなっている。教育委員会としても、学校の現場の先生方や、ないしは教育委員会の職員もベクトルを合わせ、そして評価をすることで、職員のやりがいや意識を上げることに繋がるのではないのかと。やはりそのような視点で、今回のこの振興計画を捉えていく必要があると思います。それで中身については、先ほどローカルのフォローというのも出ておりましたが、学校と、地域と社会が、上手く結びついていくこと。それが一番大事ではなかろうかと。今回の振興計画の中の具体的な措置として、これも説明がありましたけど、文化協会とリンクをして学校の授業を活性化できないだろうかとか。ないしは地域の人で部活動の指導といった支援をしていけないだろうか。地域の行事や、小松島市も多くの体育関係を含めてイベントをやっております。そういうイベントをうまく学校教育や社会教育と、結び付けていけないだろうか。多分、相互にね、協力とか支援ということより協働っていう方がいいかもわからない。要するに共に高め合う仕組みを、この振興計画の中から読み取ってもらい、そういう視点で、各事業を進めていく必要があると考えている。やはり今までやったら小学校ごとに行っていたことを今度はオール小松島というのか、小松島全体で子供たちの教育体制を支えていく取り組みに繋がると思うし、そのように進めていく必要があると考えております。以上でございます。

(中山市長) ありがとうございます。委員の皆様から様々な貴重なご意見をいただきました。まさに、計画を立ててそれを実行することは、まず KPI 数値目標、目標値をどこに定めるかが非常に大事であるし、定めない限り、なかなか検証ができないと思う。今まではそれがなかつ

たことで今の小松島市の現状に繋がってくるのではないかなと思います。やはり、子供たちというのは地域で共に育てる必要があると思っております。そして、しっかりと未来を見据えて、この小松島市の持続性、持続可能な小松島市のまちづくりを作る上で、子供の成長というのはしっかりと地域で応援して、親だけでなく学校でだけじゃなく、地域社会で先ほど教育長の言葉にもありましたように、守っていかなければいけない。教育というのは共に育つことが本当の教育ではないかと私はいつも思っております。しっかりと我々全員が、教育委員会だけとか市役所がとかじゃなくて、本当に全ての小松島市民が、同じ方向で子供たちの教育をしていくべきではないかと思っております。今後におきましても、しっかりと小松島市は教育に力を入れつつ、子供たちの健全育成を目指して参りたいと思っております。特に、今日の徳島新聞の記事にもありました、県教委が、こどもの体力向上、小中指導者派遣という記事がありました。本市は、昨年度からこれも実施しております。プールの整備がすすまず、実証実験として南小松島小学校の生徒で、OK スイミングスクールに送って、そこで授業の指導をしていただいております。この授業、非常に好評であり、生徒からも他の学校の方からも、ぜひうちの小学校もやってほしい、中学校も同じようにやってほしいというお声もいただいております。これはかなり成功しているのではないかと思っております。来年度以降も続けていきたいと思っており、それに加え、プールだけではなく、様々な文化、スポーツの人材様々な人がいらっしゃいますので、そういう人たちを外部講師という形で関わっていただくということも視野に入れて取り組んでいきたいと思っております。それが本市の特色のある教育となり、そして体力的にも未来を生きる力を、子供たちが備えていくことができればと思っております。そういう教育を私が目指して、教育長と共に、この小松島市の教育にしっかりと取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後も皆様におかれましては、様々な角度からご協力を賜りますようお願いを申し上げます。他にご意見はございませんか。よろしいでしょうか。なければ、次の事項に移らせていただきたいと思います。よろしいですか。それでは協議報告事項の2つ目、小松島市立学校再編実施計画について、教育政策課より報告説明をお願いします。

(築原教育政策課長) それでは小松島市立学校再編実施計画について説明をさせていただきます。小学校の再編計画としまして、とりまとめました小松島市立学校再編実施計画案は、7月30日に開催しました第1回総合教育会議におきまして、市長・教育委員会との間で合意決定をされました。その後、様々な方法で計画内容の周知を行い、住民説明会などを通して、市民の皆様にご理解をいただけるよう取り組んでまいりました。そして本日開催されました定例教育委員会におきまして、住民説明会やアンケート調査の中でいただいた意見を受け、計画案の一部を修正した上で、小松島市立学校再編実施計画として成案化する決定をいたしました。お手元に計画の方を配布させていただいております。なお、市長部局におきましては、2月15日に開催しました、小松島市行財政改善推進会議で同様の修正を加えた本計画が承認され、市長報告を経て、このたびの小松島市立学校再編実施計画が市長部局でも決定をされております。今後、今回決定された実施計画に沿って、再編準備を進めていきたいと考えておりますが、市民の皆様からは再編への期待と不安の両面

の意見をたくさんいただいております。いただいた意見や課題については再編を進めていく過程において十分に検証・検討を行い、学校再編への不安や心配の解消に努めていきたいと思っております。また、再編準備の進捗状況に応じ、随時情報発信を行いながら進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。小松島市立学校再編実施計画に関する説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

(中山市長) ただいま担当から小松島市立学校再編実施計画が先ほどの定例教育委員会におきまして、成案とすることが決定されたとの報告がございました。私といたしましても、教育委員会とともに、学校再編の案の時点で、できるだけ多くの市民の皆様にご説明をさせていただきたく、説明会を開催させていただき、その都度、必要性というのを述べていただいております。そういったこともあって何としても、早く学校再編を進めたい。今、人口減少社会の中で、小松島市に人口を増やすというか、少なくとも現状維持をするための大きな手段になるのではないのか、施策になるのではないのかと思っております。しっかりと、「特色のある」、教育長がよく言う質の高い教育を盛り込んだ小松島市の教育を実施する上において、この学校再編を何とか早急に進めていきたいと思っております。今回のご賛同いただいたことに対しまして深く感謝申し上げる次第でございます。今後は再編計画を実現していくために力を尽くしてまいりたいと改めて決意を固めたところでございます。つきましては委員の皆様から、本計画を進めるにあたりまして、ご意見等ありましたらお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。お願いします。

(福田委員) それでは先ほどの定例教育委員会の中でも、学校再編の計画につきましては成案化ということで合意がなされたわけですが、この学校再編につきましては、急務であることは言うまでもないことなんですけども。これからいよいよ具体的に実行に移していく中であって、校舎の新築でありますとか、改築も含めて、改修なんかも含めてハード面のみに限らず、この計画の中に含まれておりますけれどもこの環境変化に伴う児童への配慮であったり、手立てといったソフト面これはもうすでに触れられている内容なんですけれども、特に留意をして実行に移っていきますよう、ご期待を申し上げたいと考えているところです。またそのことが、再編に対して不安を抱いている方々もおいでますので、そういった人たちにも十分にご理解が得られるものに繋がっていくのかなというふうにも感じておりますので、どうかよろしくお願いできたらと思います。以上です。

(中山市長) ありがとうございます。はい、じゃあ福良委員お願いします。

(福良委員) 先ほどの定例委員会でも話もありましたが、やはりほとんどの人、70%を超えて進めてほしいという意見があったということで、ちょっと修正後の校区の面で修正を加えたり、それから工費の面でスケジュールの件で南の方の再編の方を早く進めたらどうかと柔軟な計画にさせていただき、市長さんそれから教育長さんが住民の方と、何回も対面でお話して感じたことの現れかなというふうに思います。本当に汗をかいて、実際に対面でお話をして

いただいて、住民の方もひとりずつ再編の気持ちは伝わったのではないかと思います。そんな中でやっぱり不安に思うあるいは反対的な方も少人数でもいい教育ができるんじゃないかという意見をもたれている方もいるんですけども、そういう不安な場面に関しての手立ては情報開示とか、それから選択の柔軟性ということも考慮しながら、みんなが再編してよかったと言えるようにこの再編計画が進んでいったらと思います。それから先ほど市長さんもおっしゃられたんですけども、子供たちを増やすあるいは現状をどうにか維持していくってということで質の高い教育、それとやはりまちづくり、それから子育て支援しやすい小松島って、委員会と行政ともにその再編計画進めていけたらと思いますので、取り止めのない雑多になってしまいましたけれども、よろしくをお願いします。

(中山市長) ありがとうございます。眞井委員をお願いします。

(眞井委員) 再編進めていくにあたりこれが成案化となったわけですけども、今、小松島市はやはり自動車道の建設も進んでいますし、今後また数年以内に交通事情は大きく変わる可能性があると思います。よって保護者の方で、一番心配なのはやはり児童の安全というところが一番気になるところだと思いますが、危ない箇所とかがあれば、重点的に気をつけながら進めていただきたいと思います。あとは校舎の建設に関しても、限られた財政の中で、できるだけ早くできる方法があるならそういう方法もいろいろ模索しながら、進めていただきたいと思います。以上です。

(中山市長) ありがとうございます。渡部委員をお願いします。

(渡部委員) 大変丁寧に中山市長さんも説明会に参加され、本当に丁寧に色々と住民の方の意見を伺ったんだと思います。70%を超える方の賛同というのもその通りだと思います。やはり専門家は専門家で思い込みがありますので、住民の意見とか一般の方の意見を聞くということは本当に気付きがあることで大変いいことだと思います。それを受けて、各校区も柔軟にできるといったところも付け加え成案化しましたけど、いよいよ何か現実味を帯びてきて、少し私としてはワクワク感があります。これからの子供たちに快適な校舎ですね。提供できると思うと何かそういう気持ちがします。若い方の教育に対する考えは結構熱心ですので、学校はどうかっていうのを先程の市長さんがおっしゃったような、そこに来ようかっていうような方を呼び込めるものにもなるかと思います。だからすごく期待がいっぱいです。よろしくをお願いします。

(中山市長) ありがとうございます。教育長をお願いします。

(小野寺教育長) まず、初めの市長の力強いお話を大変嬉しく思います。この2年間でこの案をより現実的なものになったと思っております。その背景には、初めに市長が話をされたような思い、結局教育委員会だけでなく市とも横断的な協議があるし、取り組みがなければ、こうい

った大きい事業は進んでいかないと、もう少し先に進めると、それが市民の皆さんにとってのまちづくりにも繋がっていかないと考えています。だからそういう意味で今回この案を成案化して今後進めていくと。当然また課題も出てきますし、協議をしながら進めていく必要があるのかと思っております。それと教育委員会の立場といたしまして、先ほど校舎が新しくなる、備品が新しくなる、そうやってきたときに、最後一番細かいことになるんですけども、再編が進んでも教材・教具への予算措置もぜひともお願いしたいと考えております。以上でございます。

(中山市長) ありがとうございます。大変貴重なご意見をいただきました。おかげをもちましてですね、何とかこの再編計画が今、渡部委員のお話の中にもありましたように、やっと動き出したところ、たどり着いたところでございます。まだまだクリアしていかなければならない課題がたくさんございます。しかしながら、前回のアンケート結果よりも多い賛同をいただいたということで、我々も非常に心強く感じている次第でございますが、決してマイノリティの意見を切り捨てるということではなく、しっかりとそこにも耳を傾けつつ、本当に理解を深めてもらい、この学校再編を進めてまいりたいと思っております。それに加え、とりあえず校舎新築は2校ということになります。今のところ、あとの3校につきましてはですね、大規模な修繕ということで計画を掲げさせていただいておりますが、しっかりと協議をしながら、ニーズに応えつつ、見劣り感がないように、そこに通う生徒たちに劣等感というようなことを生んではいけないと思うし、施設整備もしっかりと取り組んでほしいと思っております。今後、いろんな委員会等を立ち上げていく予定でございます。委員の皆様におかれましては、今後も引き続き、忌憚のないご意見を賜りながら、共に子供たちのために学校再編、いい学校を作っていきたいと思っております。今日は皆様のご賛同をいただいたということで、ご了解いただいたということでよろしいですね。引き続き皆様のご協力を賜りますようお願いを申し上げます。それでは本日予定しておりました協議報告事項は全て終了いたしました。本日は、委員の皆様から活発なご意見をいただきまして厚く感謝を申し上げます。この2年間、教育現場はコロナ禍で学習が制限されるなど、大変ご苦労されていると存じます。1日も早く、十分な教育活動が展開できる日が来ることを心より願っているところであります。それでは、いろんな課題をクリアしながら、全庁挙げてまた教育委員会としっかりと連携をしつつ、この再編を進めてまいりたいと思っております。今後ご協力をお願い申し上げます。これをもちまして令和3年度第2回小松島市総合教育会議を終了いたしたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

(4名の各委員) ありがとうございました。

(中山市長) それでは事務局にマイクを返します。

(芳賀総務部参事) 教育委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。本日の会議の議事録につきましては、この後事務局で作成をいたしまして、ホームページへ公表していく予定としておりま

す。以上をもちまして、令和3年度第2回小松島市総合教育会議を閉会いたしたいと存じます。本日は誠にありがとうございました。